

# 学務部通信 12 回生(1年生) 休校課題一覧

12 回生 (1 年生) 学務部 R2. 4. 21 発行

科目	課題	提出日	備考
国語	1. 読書記録の作成 2. 硬筆の練習 教科書『中学書写』 ・「文字と出会う」(鉛筆でなぞり書き) ・P14,15(筆ペン) ・P32,33(楷書のみ・鉛筆・筆ペン)	1. 国語 α の最初の授業 2. 再開後に連絡	1は毎日 30 分以上読み、読書記録用紙に読み終わった本と途中で読むのをやめた本すべてについて、書名、ジャンル(ファンタジー・古典・SF など)、著者名、日付、そして評価を 10 段階で記入すること。
社会	地理的分野 ・ワークシート No.1～No.5 ・教科書 p.13「地理のスキルアップ」3. 世界の略地図のえがき方をよみ、世界の略地図がえがけるようにする。 ・資料集「グラフィックワイド地理」p.4～20 を読み、問題を解く。	再開後に連絡	・歴史的分野の課題はありません。 ・教科書の文章を読み、理解しながら課題に取り組みましょう。
数学	【数学 X】 ・教科書 中学校 1 年 最初～P83 までをすべて読み、理解すること。 ・Step 演習 中学 1 年 P32～P49 までの内容をノート(各自準備)に予習、解答を行い、自己採点をする。 教科書の理解が難しいところは、YouTube で“Try IT 映像授業”の「中学 1 年」「正の数負の数」「文字式」の動画などを見ると理解がしやすい。	【数学 X】 Step 演習用のノートは、次の登校できた日の初日	数学 X は春休み課題で使ったノートの続きを利用すること。
理科	【理科 α】 「理科 α」は週に 3 時間授業があり、生物・化学・地学の領域を学習します。自分自身の生活体験をもとに、別添の課題プリントに取り組んでください。 【理科 β】 「理科 β」は週に 1 時間授業があり、物理の領域を中心に学習します。春学期は 1 年生の教科書の「音による現象」「力による現象」を扱います。 教科書を読んで、「理解できなかったところ」をできるだけたくさん見つけてください。 例えば教科書 p. 203 には「オシロスコープ」という器具を使って音の「波形」を調べる実験が載っています。不思議ではないですか？私たちはどうしてこの器具に表示された図形が「音の波の形」だと思ってよいのでしょうか？そもそも「波の形」とは一体何なのでしょう？ ほかにも、教科書 p. 208 に「大きく変形するほど、弾性の力は大きくなる」と書いてあります。実際に例を挙げて考えてみると、確かにそのような例はいくつか思いつきます。でも、そうではない例も思いつくはずですね。それでは、教科書に書いてあることは一体何なのでしょう？ 「理解したつもりになること」はすぐにできます。しかし、本当の意味で「理解すること」はとても難しいのです。中等に入学したからには、様々な物事についてしっかり考えて、深く理解することを目指しましょう。	【理科 α】 理科 α 最初の授業 【理科 β】 授業用とは別のノートを用意して、そのノートに自由にまとめてください。提出方法は後日指示します。	【理科 α】教科書や資料集は一切見ずに取り組むこと。 【理科 β】こういった事態で当面授業ができないので、再開後は教科書の文言はあらかじめ読んであることを前提に授業を進めます。 担当教員も「理解したつもり」になっていることはたくさんあると思います。授業開始後は、皆さんがたくさん考えてきたことを担当教員に質問して、どんどん担当教員を困らせてください。
音楽	別で配布するワークシートに取り組むこと	提出日 音楽のはじめの授業	
美術	なし		
保健体育	なし		家庭で行える運動習慣を心がけて下さい。
技術	なし		
家庭科	教科書副教材とともに送ったスコラ手帳(白い手帳)に『毎日家のお手伝いをしたことを記録する』	提出日 最初の家庭科の授業に、スコラ手帳を持参する	

英語	<p>英語用の4線ノートを2冊用意してください(それぞれのノートの表紙には次のようにタイトルを記入 ①「授業用・練習用ノート」 ②「問題集用ノート」)。次に年・組・番号・名前を日本語で記入してください。</p> <p><b>【課題内容】</b> 「授業用・練習用ノート」に確認テストのための練習をする(休校が解除された初回の授業で春休み課題の確認テストを実施します)。</p> <p><b>【確認テストの内容】</b> 1. 『ニュー・ペンマンシップ (NEW PENMANSHIP)』で練習したアルファベット(楷書体)大文字・小文字をAからZまで何も見ないで書くことができる。 2. 日本語の文字を全てローマ字(ヘボン式)で書くことができる。 3. アルファベットの音をAからZまで言うことができる。また音を聞いて書くことができる。 4. 『ニュー・ペンマンシップ』の「単語の練習」・「文の練習」(p.p. 24-31)の単語・表現を日本語から英語に直すことができる。 5. 練習した英語を聞いて、書くことができる。</p>	休校解除後、最初の登校日	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 課題に取り組む際は次の2点に気をつけましょう。①ペンマンシップで習った通り4線を利用して丁寧に書く。②書いた文字は発音する。</li> <li>● 『エースクラウン英和辞典』でアルファベットをAからZまで引き、それぞれ発音しましょう。発音は記号とカタカナで記されています。例えば、K は「ケー」ではなく「ケイ」です。 上記と同様に、英単語も辞書で引き、発音しましょう。</li> </ul>
道徳	<p>休校中、「嫌だな」と感じたこと、また「嬉しい」と感じたことについて 400 字以内にまとめなさい。</p> <p><b>【課題の方法】</b> 1行目にタイトル、2行目に年・組・名前を書き、3行目から文章を書きなさい。段落の始めは1文字空けること。</p>	休校解除後、最初の登校日	「道徳課題」と書かれた原稿用紙に記入。
KP (総合学習)	<p>「新型コロナウイルスの終息後、日本社会はどのように変化すると考えますか」という問いに対するあなたの考えについて、その理由も含めて 800 字以内にまとめなさい。政治・経済・産業・医療・法律・環境・福祉・教育等々、様々な視点がありますが、テーマを1つに絞ること。新聞、雑誌、ネット記事などを積極的に活用しましょう。ただしその場合は「日本経済新聞によると、山中伸弥氏は次のように述べている」などと記し、自分のオリジナルな意見と、参考文献から得た情報との違いが読み手に伝わるように書くこと。</p> <p><b>【課題の方法】</b> 1行目にタイトル、2行目に年・組・名前を書き、3行目から文章を書きなさい。段落の始めは1文字空けること。</p>	休校解除後、最初の登校日	「KP 課題」と書かれた原稿用紙に記入。

## 新入生の皆さん

入学前課題は十分に取り組んでもらっていることと思います。上記には残りの休校期間に取り組んでもらう課題を記載しています。

メリハリをつけて課題に取り組むために、以下の方法を参考にして学習を進めましょう。

### 1. 毎日のスケジュールを立てる

細かくなくても構わないので、「今日は国語の課題を○ページと数学の課題を○ページする」などと、決めてから取り組みましょう。

スコラ手帳を有効に活用してみましょう。予定を書きだす作業は非常に大切です。

### 2. タイマーを使って時間を区切る

時計やストップウォッチなどを用いて、50分を一区切りにしてみましょう。集中力は90分以上連続して持続させるのは非常に難しいです。

休憩時間には軽いストレッチなどをして、リフレッシュしましょう。太陽光を浴びることも大切です。

### 3. 簡単な(取り組みやすい)ものから始める

なかなか学習に取り組めないとき、まずは自分の得意なもの、やりたいものから手を付けてみるといいでしょう。

### 4. 机周りを片付けておく

学習環境は、目で見える風景に影響されます。物が整理整頓されている机の上での学習は、思考も整理整頓されます。